

第4回 十三市民病院 糖尿病フェスタ 開催報告

大阪府立十三市民病院 糖尿病ケア委員会

田中 永昭

【はじめに】

世界中で糖尿病は増え続けており、糖尿病予防・治療の啓発として国連は11月14日を「世界糖尿病デー」と定めている。この日は世界各地で主要モニュメントのブルーライトアップが行われ、世界中の人々に糖尿病に対する認知・広報活動を行っているが、大阪でも平成24年は大阪城や通天閣がブルーにライトアップされた。このような世界的な運動の流れを受けて、十三市民病院 糖尿病ケア委員会では、大阪市役所医師会の後援を得て、平成21年より「糖尿病フェスタ」と題した地域一般住民向け啓発イベントを毎年開催している。今回平成24年11月9日、10日に第4回糖尿病フェスタを開催したので報告する。

【目的】

本イベントの目的は大きく分けて3つある。

- ① 当院周辺の一般地域住民に対し糖尿病の予防啓発を行い、糖尿病に対する知識・理解を深めるとともに、自身の健康そのものにも興味をもってもらう機会とする。
- ② 糖尿病に対する理解が深まることで、現在糖尿病を治療中の患者さんに対する態度や偏見が改められ、糖尿病患者さんにとっても生活しやすい地域社会を形成する（「食べ過ぎたから糖尿病になったんやろ」「インスリン打ってるなんてかわいそうに」という勘違いの多いこと！もういい加減こんな世の中から卒業しませんか？ということです）。
- ③ 一般住民向けのイベントを行うことによって、当院の認知度を高め、より信頼されアクセスしやすい病院づくりに貢献する。

【方法】

平成24年11月9日（金）午後2時～4時、10日（土）午前10時～12時 十三市民病院 1階ホール・9階すかいルームにて実施した。今回より土曜日も含めた2部構成とした。理由として、前回までは平日の午後のみ開催であったため、参加可能な年齢層が限定され、本来の糖尿病予防啓発の対象とすべき40～60歳代、特に男性の参加者が少ないことが反省点として挙がっていたためである。また、今回より外部ゲストによる講演を依頼した。医療者以外の立場から健康を考える視点も重要と考えられていたためである。

今回のメインテーマを「美と健康、そして糖尿病」とした。一般の方々の興味を引くには、「健康」だけでは弱いと思われたため、誰でも一番興味の湧きやすい「美」を絡めて企画することとした。これに合わせて、今回のゲスト講演を現役モデルでウォーキングインストラクターの船見啓子さんに依頼した。本イベントを院内広報紙への掲示、インターネットホームページへの掲載、区民だよりへの掲載などを通して地域住民に案内した。

イベントの内容を以下に示す.

第1部：平成24年11月9日（金） 午後2時～4時

ポスター展示, 講演など各スタッフが趣向を凝らして実施

- ① 「いつまでも美しさを保つための7つの秘密（医師）」
- ② 「見られてますよ！あなたの『歯』と『足』（看護師）」
- ③ 「美と健康と栄養（栄養士）」
- ④ 「サプリメントで美しくなる！？（薬剤師）」
- ⑤ 「3つの体操『美脚』『美尻』『美腹』（理学療法士）」
- ⑥ 「血糖値を測ってみよう！（臨床検査技師）」
- ⑦ 「糖尿病とお金のはなし（地域医療連携室）」
- ⑧ 「糖尿病患者会のご案内（淀川桃友会）」
- ⑨ 「栄養サポートチームの紹介（NST）」
- ⑩ 「手の消毒実施中！（感染対策委員会）」

第2部：平成24年11月10日（土） 10時～12時

講演

担当	テーマ
医師 田中永昭	「医学の中の美学～その光と影～」
モデル 船見啓子 さん	「美は健康への近道 ～楽しい美姿勢体操とウォーキング～」
栄養士 丈六勝利	「美と健康と食事」
薬剤師 川端昌康	「サプリメントを知る！」
看護師 上田美恵子 北村政子 福井八重子 谷川留美子	「美と健康が手に入る『歯』と『足』のお手入れ
全員	Q&A

第1部では、今までと同様、各医療スタッフがそれぞれテーマを決定し、ポスタープレゼンテーションやスライドを用いた講演などで糖尿病に対する理解を深める支援を行った。NSTやICTにも参加していただき、病院全体として当イベントを盛り上げる機運が高まっていた。参加者は各展示ブースをスタンプラリー形式に自由に閲覧し、全ての展示を見てスタンプが貯まったら記念品と交換する仕組みになっている。

第2部では、講演形式で「美と健康」をテーマに実施した。モデルの船見さんからは、ウォーキングの実演指導もいただいた。医療者の立場からすると、「健康になると美しくなる」という発想しか出てこないが、船見さんからは「美しくなることを意識することが健康につながる」というお話をいただいた。糖尿病予防という目標に向かって、「健康」という窓口からでも、「美」という窓口からでも、どちらから入っても辿りつくように、「美」と「健康」のかけ橋をつなぐのが本イベントの核心であったので、船見さんのお話はまさにうってつけであった。

【結果】

本イベント参加者のアンケート結果を以下に示す。

①参加者の年齢・性別

アンケート項目	全体		第1部 (11/9)		第2部 (11/10)	
	参加：137名 提出：100名 回収率：73.0%		参加：102名 提出：71名 回収率：69.6%		参加：35名 提出：29名 回収率：82.9%	
総計	人数	割合	人数	割合	人数	割合
30歳代	2	2.0%	2	2.8%	0	0.0%
40歳代	8	8.0%	6	8.5%	2	6.9%
50歳代	14	14.0%	11	15.5%	3	10.3%
60歳代	20	20.0%	11	15.5%	9	31.0%
70歳代	48	48.0%	34	47.9%	14	48.3%
80歳代	8	8.0%	7	9.9%	1	3.4%
計	100	100.0%	71	100.0%	29	100.0%

性別は、第1部男性28.2%、女性71.8%、第2部男性24.1%、女性75.9%であった。

②今までの「糖尿病フェスタ」にお越しになったことがありましたか？

アンケート項目	全体		第1部 (11/9)		第2部 (11/10)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
来たことがある	28	28.0%	21	29.6%	7	24.1%
1回	12	12.0%	7	9.9%	5	17.2%
2回	11	11.0%	9	12.7%	2	6.9%
3回	3	3.0%	3	4.2%	0	0.0%
4回	2	2.0%	2	2.8%	0	0.0%
今回初めて来た	63	63.0%	50	70.4%	13	44.8%
無回答	2	2.0%	0	0.0%	2	6.9%
計	100	100.0%	71	100.0%	29	100.0%

③十三市民病院にはよく来られますか？（複数回答あり）

アンケート項目	全体		第1部		第2部	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
糖尿病患者で通院している	20	19.8%	13	18.6%	7	22.6%
糖尿病以外で通院している	31	30.7%	21	30.0%	10	32.3%
以前に受診・入院したことがある	25	24.8%	19	27.1%	6	19.4%
当院来院歴あり	76	75.2%	53	75.7%	23	74.2%
今回初めて来た	23	22.8%	17	24.3%	6	19.4%
その他(付添、見舞いなど)	1	1.0%	0	0.0%	1	3.2%
無回答	1	1.0%	0	0.0%	1	3.2%
計	101	100.0%	70	100.0%	31	100.0%

④「糖尿病フェスタ」のことを、どこで知りましたか？（複数回答あり）

アンケート項目	全体		第1部		第2部	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
十三市民病院	65	63.7%	41	56.2%	24	82.8%
インターネットのホームページ	1	1.0%	1	1.4%	0	0.0%
他の病院・医院	4	3.9%	3	4.1%	1	3.4%
保健センター	3	2.9%	3	4.1%	0	0.0%
区民だより	13	12.7%	11	15.1%	2	6.9%
家族・友人から	13	12.7%	11	15.1%	2	6.9%
その他(来院して知った)	3	2.9%	3	4.1%	0	0.0%
計	102	100.0%	73	100.0%	29	100.0%

⑤ 11月14日が国連で決定された「世界糖尿病デー」であることをご存知でしたか？

アンケート項目	全体		第1部		第2部	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っていた	33	33.0%	23	32.4%	10	34.5%
知らなかった	64	64.0%	45	63.4%	19	65.5%
無回答	3	3.0%	3	4.2%	0	0.0%
計	100	100.0%	71	100.0%	29	100.0%

⑥「第4回糖尿病フェスタ」の内容で特に印象に残ったのは？（複数回答あり）

第1部	人数
いつまでも美しさを保つための7つの秘密	27
見られていますよ！あなたの『歯』と『足』	16
美と健康と栄養	25
サプリメントで美しくなる！？	12
3つの体操『美脚』『美尻』『美腹』	25
血糖値を測ってみよう！	23
糖尿病とお金のはなし	11
糖尿病患者会のご案内	5
栄養サポートチーム(NST)	3
手の消毒実施中！(ICT)	20
計	167

第2部	人数
医学の中の美学～その光と影～	9
美は健康への近道～楽しい美姿勢体操とウォーキング～	25
美と健康と食事	14
サプリメントを知る！	11
美と健康が手に入る『歯』と『足』のお手入れ	9
計	68

【考察】

アンケートを通して本イベントをふりかえってみると、今回は特に40～50代の男性の参加を意識したものの、結果的には多くの参加者を見込めなかった。原因として、テーマが「美」ということで男性には訴求力の低い内容であったこと、広報手段として同対象年齢にアクセスしにくかったこと、曜日・時間帯の設定などが挙げられる。広報手段としては、糖尿病以外で通院中の患者が院内の掲示を見て家族・友人を誘うというパターンがアンケート結果から想定される。インターネットホームページでの掲載も行っているが、やはり興味を持ってアクセスしないと検索されないため、一般住民対象には露出度は低いと思われる。一方、区民だよりを見ての来院が多く、重要な広報手段と思われる。いずれにせよ、早めの企画・準備と広報がより多くの参加者獲得の重要な要素と思われた。

今回は2部制として、土曜日の午前にもフェスタを実施したが、前日の第1部に参加された方が再訪されたケースが多く、「土曜日だから来ました」という参加者は少なかった。これも広報不足が大きな要因と思われる。講演内容自体は質が高く、参加者には非常に好評であっただけに、反省が必要である。

参加者における「世界糖尿病デー」の認知度は33.0%で、前回34.5%とほぼ同等であった。今後もこのような活動を継続し、年に1回くらいは糖尿病予防に留意する機会を提供していく必要がある。

参加者に印象に残りやすいプレゼンテーションとしては、わかりやすく、かつ双方向的な手法を取り入れた展示が多いようであった。モデルさんの講義・実演には多くの評価があり、眼で見て、体験して実感できることが最も説得力があった。医療者は「体で魅せる」

ことは困難かもしれないが、プレゼンテーションの手法についてはさらに工夫を要すると思われた。

【最後に】

当院において地域住民・患者を100人以上集められる企画は「糖尿病フェスタ」以外にない。また、糖尿病ケア委員会のみならず、栄養サポートチーム、感染対策実務委員会など病院全体でチーム医療を担っている部署が結集して開催できているイベントも他にない。さらに、全国的にも本イベントほど各職種間のチームワークを発揮して定期的に行われている催事は他に類を見ない。当院は地域医療拠点病院としての役割を担っているが、「糖尿病フェスタ」はもっと地域に寄り添った病院としての姿勢・意欲を地域一般住民の方々に披露できる重要な機会であると認識している。今後も周到な準備をもって、より意義のあるイベントに育て、十三市民病院の大きな特色としてアピールできるよう努力を惜しまない。最後に、この場をお借りして、本イベントに参加・ご協力いただきました職員・スタッフの皆様に深く御礼申し上げます。



